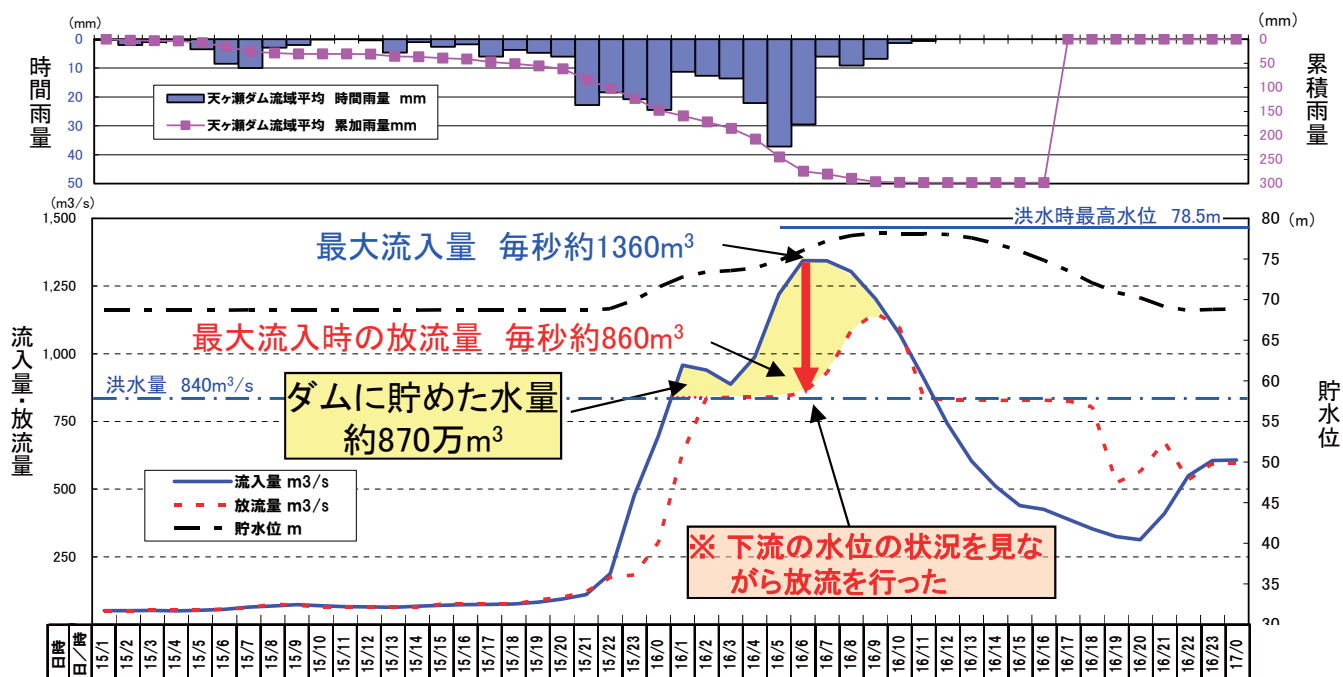


4.淀川水系【瀬田川洗堰・天ヶ瀬ダムの効果①】

●台風18号豪雨により天ヶ瀬ダム流域では、総雨量300mm、上流の琵琶湖流域では総雨量280mmを観測し、天ヶ瀬ダムと瀬田川洗堰の操作により、下流の洪水被害を軽減した。



宇治市役所
平等院

宇治川

天ヶ瀬ダム

天ヶ瀬ダムと宇治市街地

4.淀川水系【瀬田川洗堰・天ヶ瀬ダムの効果②】

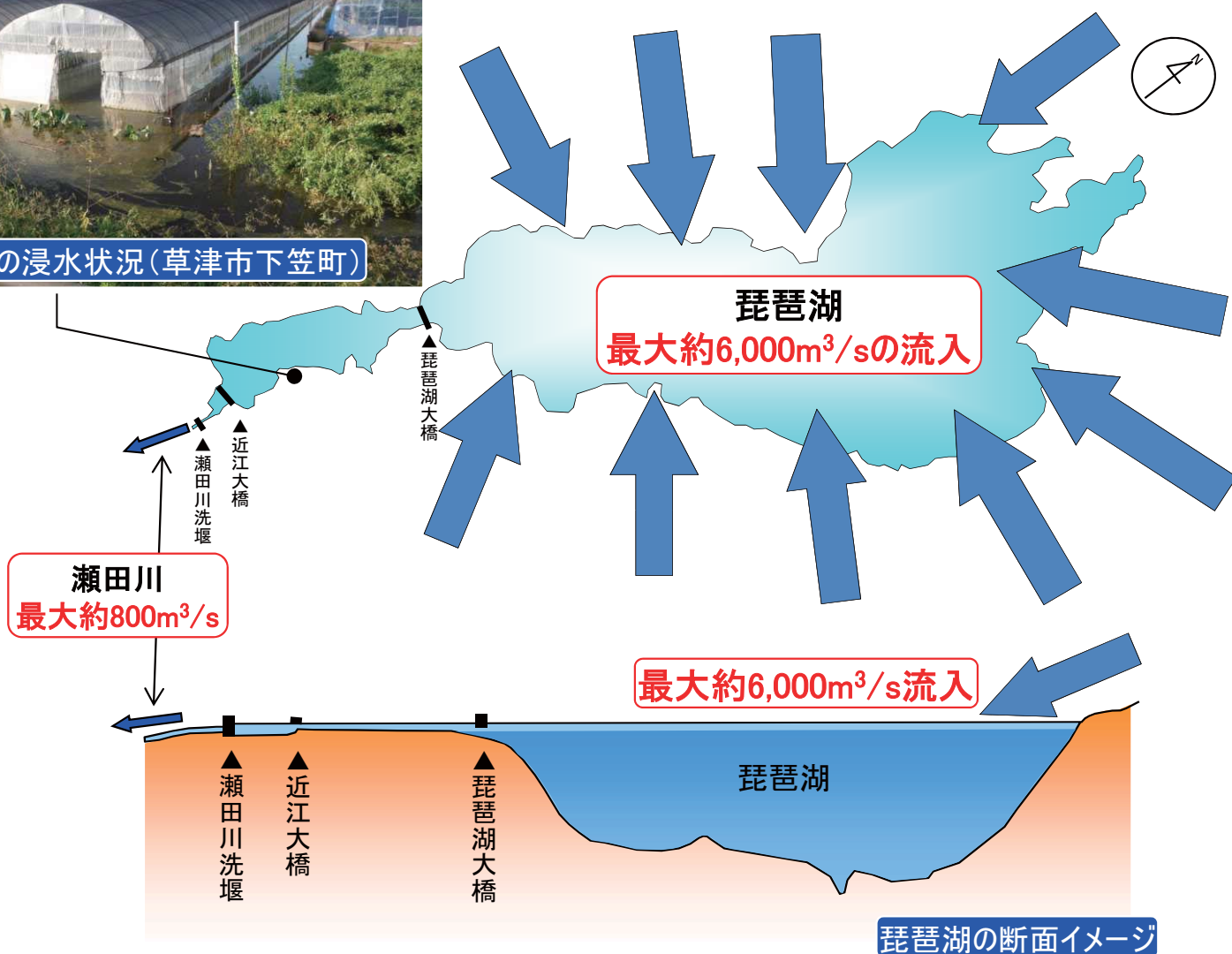
- 琵琶湖の流域面積は滋賀県の面積9割に相当する3,848km²にも及び、今回の豪雨による琵琶湖への流入量は最大で毎秒6,000立方メートルに達したと推定される。
- 琵琶湖からの流出河川は瀬田川のみであり、流下能力は最大でも毎秒800立方メートル程度であることから、今回の豪雨で約1m程度の水位上昇があった。
- 瀬田川下流の宇治川では、天ヶ瀬ダム流域で洪水調節開始流量を上回る流入があったことから、瀬田川洗堰の全閉操作を行った。
- 下流宇治川ピークを回避するまでの間、瀬田川洗堰の全閉操作による琵琶湖の水位上昇は約0.1m程度であると推算される。



瀬田川洗堰全閉状況：上流左岸より撮影



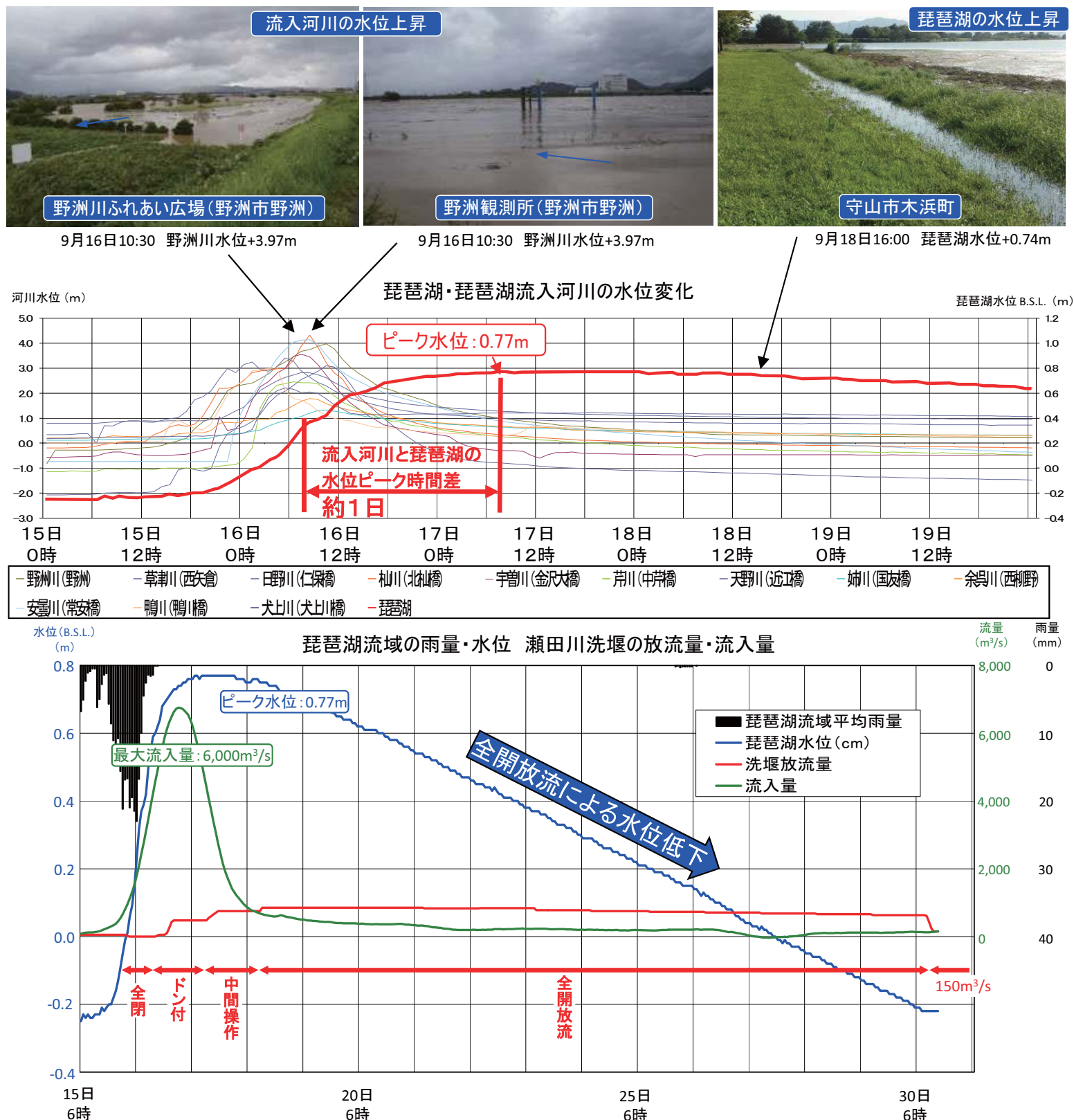
琵琶湖畔の浸水状況(草津市下笠町)



琵琶湖の断面イメージ

4.淀川水系【瀬田川洗堰・天ヶ瀬ダムの効果③】

- 台風18号による琵琶湖流域の豪雨で、琵琶湖流入河川では堤防決壊などの被害が発生した。
- 流入河川の水位ピークから約1日程度遅れて、琵琶湖の水位がピークとなり、琵琶湖沿岸では内水被害が発生した。
- 下流河川の状態をみながら、速やかに瀬田川洗堰では中間操作・全開放流に移行し、琵琶湖水位を低下させた。



4. 淀川水系【宇治川の出水状況】

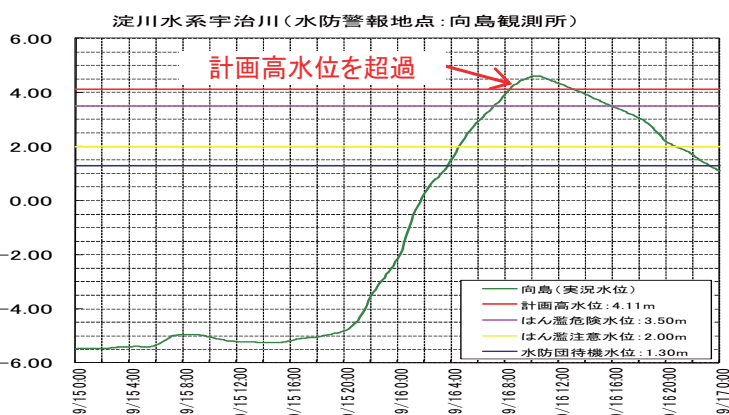
宇治川では、向島地点において計画高水位を超過する洪水となり、非常に危険な状態となった。



堤防一杯に流れる宇治川
(堤防の決壊や越水は免れた)



冠水した塔の島

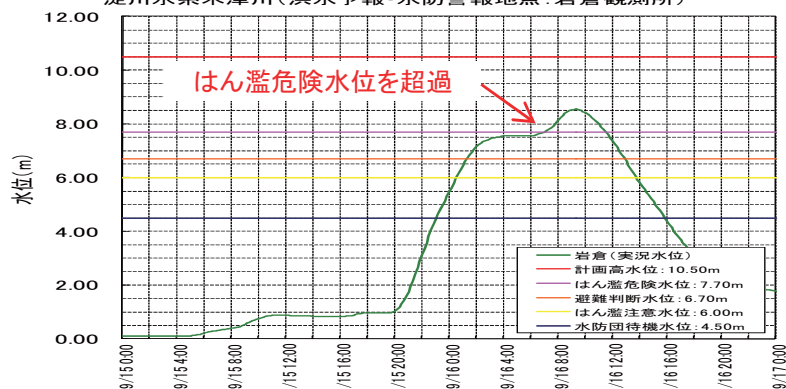


4. 淀川水系【木津川の出水状況】

木津川では、岩倉地点でははん濫危険水位を超過する洪水となり、伊賀市域の内水域で浸水被害が生じた。



淀川水系木津川(洪水予報・水防警報地点: 岩倉観測所)



浅子川のはん濫と服部川の霞堤からの溢水により三田地区で浸水被害が発生



三田地区全体の家屋浸水は、
床上浸水 45戸、床下浸水 8戸
【伊賀市危機管理室情報: 19日時点】



伊賀市三田地区

4. 淀川水系【淀川本川の出水状況】

淀川本川では、枚方地点においてははん濫注意水位を超過する水位となり、昭和57年洪水以来約30年ぶりに高水敷を超える危険な状態となった。



(H25年9月16日)



(普段の淀川)



(H25年9月16日)



(普段の淀川)



5. 他の直轄河川の被害状況

由良川水系、淀川水系以外においては、広い範囲で被害が発生

北川水系



加古川水系



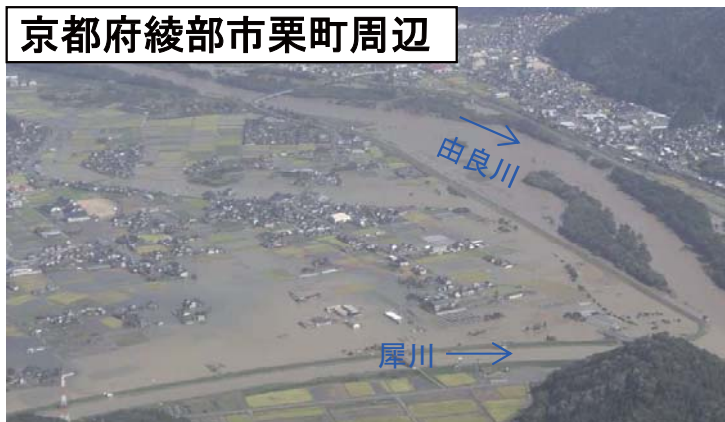
大和川水系



6. 内水の主な被害状況

台風18号により本川の水位が著しく上昇したため近畿管内の各地で内水被害が発生

京都府綾部市栗町周辺



滋賀県野洲市小篠原周辺



京都府福知山市荒河地区周辺



京都府井手町山城大橋周辺



京都府京田辺市玉水橋周辺



和歌山県紀の川市貴志川町周辺



7. 排水機場の稼働状況

- 管内の直轄管理河川にある20の直轄排水機場（救急排水含む）で内水を排水。
- 台風18号出水による総排水量は、約2,300万立方メートル（京セラドーム大阪約19杯分）。

弘法川救急排水(由良川)



台風18号により稼働した直轄排水機場
(H25.9.15～9.17)



久御山排水機場(宇治川)



大川地区救急排水(木津川)



8. 内水に対する国交省の排水ポンプ車の派遣

自治体からの要請を受けて近畿管内の内水はん濫箇所に排水ポンプ車を派遣。

兵庫県豊岡市 円山川



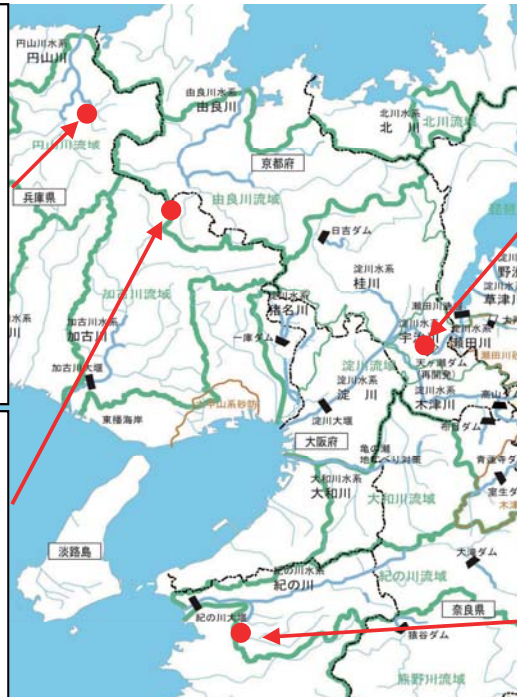
京都市伏見区 山科川



京都府福知山市 由良川



和歌山県紀の川市 貴志川

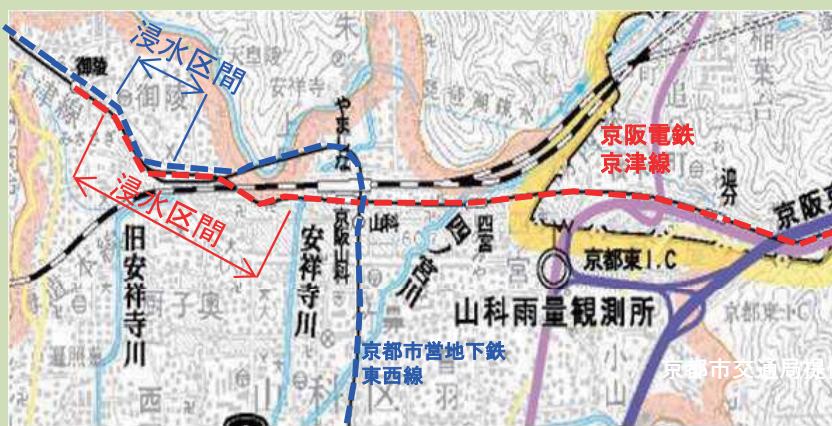


国交省のポンプ車の出動台数(河川関係)

日台数	実台数
46	21

都市域での浸水被害

京都市営地下鉄東西線及び京阪電鉄京津線 御陵駅～山科駅間の浸水被害等により地下鉄東西線が9月19日午後9時30分まで運休。京阪京津線は9月29日午後5時まで運休。



近畿運輸局提供



京阪電鉄京津線の浸水状況

近畿運輸局提供

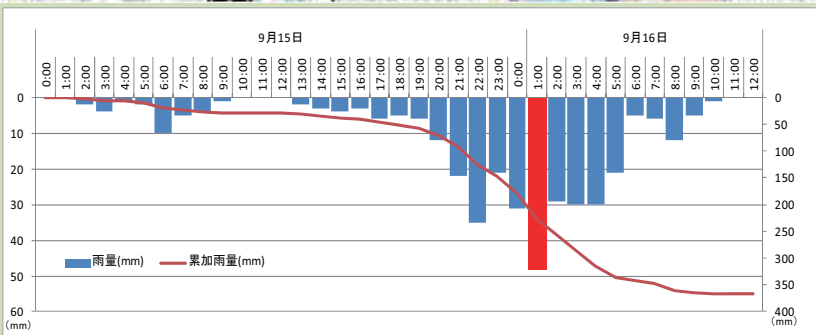


京阪電鉄御陵駅の浸水状況

京都市交通局提供



京都市営地下鉄東西線の浸水状況



山科雨量観測所

9. 紀伊山地の状況①

あかだに
赤谷

奈良県五條市

- ・ 仮排水路末端部や現場内工事用道路、仮設ヤード、監視設備などが被災。
- ・ 9/21未明、既崩壊斜面の一部が崩壊。



位置図



しみず うい
清水(宇井) 奈良県五條市

- ・ 仮設護岸の約170mが被災。
- ・ 斜面には大きな変状はなし。



9. 紀伊山地の状況②

くりだいら

栗平 奈良県十津川村

- ・ 工事用道路、暗渠排水管（5m程度）、水位計設備などが被災。
- ・ 推進工法で施工した暗渠排水管を設置後、初通水。閉塞部の侵食を最小限に抑えた。



位置図



ながとの

長殿 奈良県十津川村

- ・ 十津川河床部の工事用道路、雨量計設備などが被災。



10. 府県の主な被害状況①

- 府県管理河川等において近畿地方の広範囲にわたり大きな被害があった。
- 被災現場では、次の出水に備え応急復旧を実施中。

福井県

常神半島 法面崩壊発生状況



松原海岸 流木漂着状況



北川水系江古川 越水状況



北川水系野木川 堤防決壊



堤防決壊状況



H25年9月25日
応急復旧状況



TEC-FORCE（中部地整）

